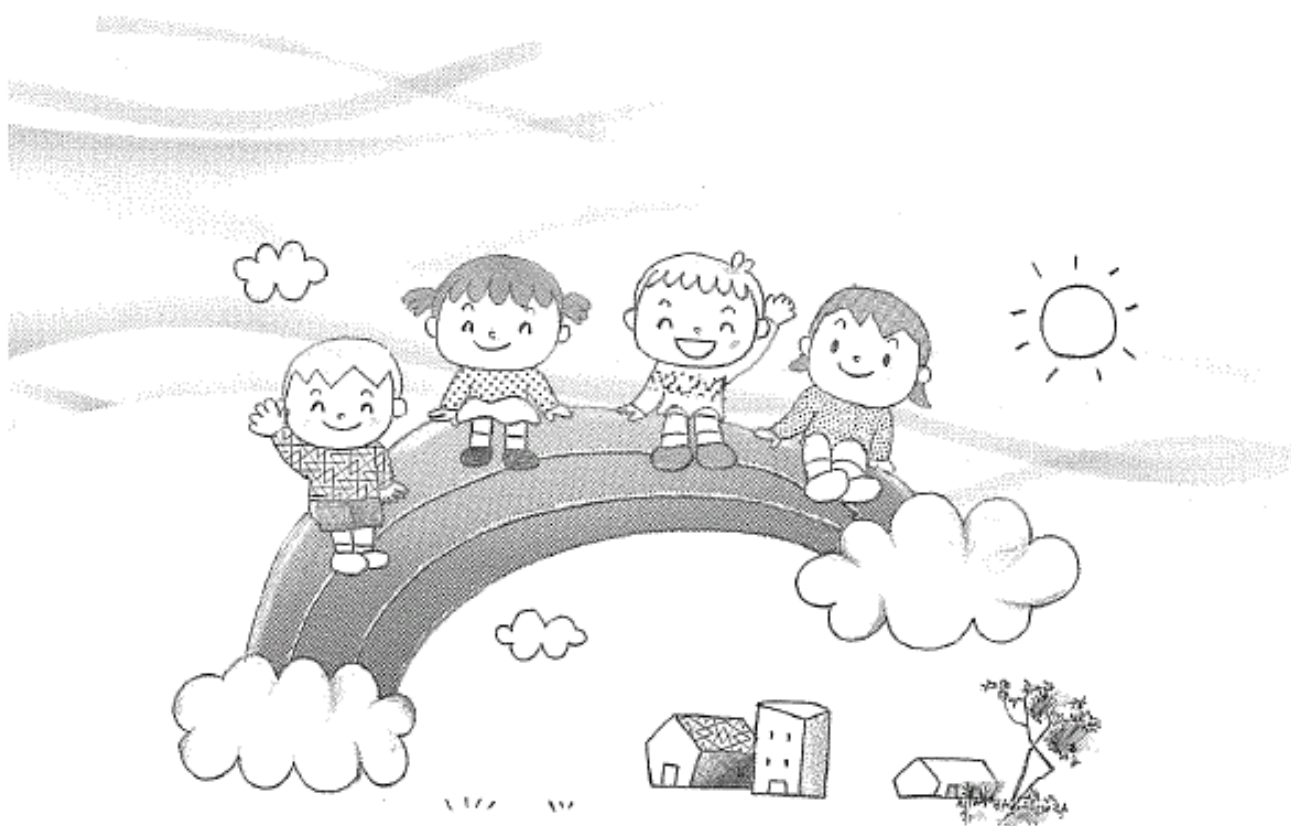


# 自閉症の子どもたちの特性理解

～すべての子どもたちが大切に育てられるために～



倉敷市

平成25年11月

# はじめに

みなさんの保育園には、広汎性発達障害、ADHD、LD、アスペルガー症候群などと診断された又は疑われる子どもたち（以下、「発達障がいの子どもたち」と言います。）が入所していると思います。

倉敷市は、保育士を対象にした「障がい児研修」を年8回開催するとともに、医師・臨床心理士・発達支援員・言語聴覚士などの専門的知識を有する方々を保育園に派遣し、子どもたちの様子を参観してもらい、保育にかかる助言をいただくアドバイザー派遣事業も実施しており、日々の保育に役立っています。

発達障がいの子どもたちにかかる保育は、診断名が同じでも、その支援方法は、一人一人に異なるものが求められます。多くの保育士が日々の保育に追われ、保育園において前述の研修等だけでは不十分であり、発達障がいの子どもたちの特性を理解するような時間を確保できず、思うような支援を行えないことで苦悩しています。

そこで、現場の保育士のうち岡山大学専攻科において障がい児教育の勉強をした者が中心となり自閉症の子どもたちの特性を知ることから始めました。そして、現場で苦悩している保育士の疑問に答える形で、今回「**自閉症の子どもたちの特性理解**」を作成しました。同じ悩みを抱える保育士の方々が、日々の保育にあたっての参考にしていただければ幸いです。

私たちは、すべての子どもたちが大切に育てられることを願っています。

自閉症等の子どもたちに対しても、一人一人の特性を理解し、一人一人に応じた保育を行えば、本来、子どもが保有する無限の可能性を発揮できるようになると信じています。私たちは、そのための一助になりたいと思います。

なお、この「**自閉症の子どもたちの特性理解**」を作成するにあたりましては、川崎医療福祉大学特任講師「重松孝治先生」に、幾多の指導をいただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。

平成25年11月

すべての子どもたちの未来を信じる保育士

# 目 次

|     |                       |    |
|-----|-----------------------|----|
| I   | ぼくたちのこと知っていますか        | 1  |
|     | 障がいの子どもの言葉から          |    |
|     | 「教えてくれて ありがとう」        |    |
| II  | 自閉症の特性                | 7  |
|     | 対人関係の特徴               |    |
|     | コミュニケーションの特徴          |    |
|     | 常同的な行動や興味に偏りがある       |    |
|     | その他の特徴                |    |
| III | 社会性の発達における課題          | 13 |
|     | (1) 相手の反応に気づくことができない  |    |
|     | (2) 一方的に伝える           |    |
|     | (3) 1 番がいい            |    |
|     | (4) 指差しや視線の先が上手く追えない  |    |
| IV  | コミュニケーションにおける課題       | 19 |
|     | (1) 言葉を繰り返す（エコラリア）    |    |
|     | (2) 上手く言葉に表現できない      |    |
|     | (3) 状況を上手く振り返られない     |    |
|     | (4) なかよくするって、どうするのかな？ |    |
| V   | 想像力の特徴                | 25 |
|     | (1) ダメはわかるけど・・・       |    |
|     | (2) 何をすればいいのかわからない    |    |
|     | (3) 何をするのかわからない       |    |

## Ⅵ 資料 . . . . . 29

障がい児保育アドバイザー派遣事業

障がい児保育関係図

倉敷市総合療育相談センター（ゆめばる）

医療機関等

児童発達支援事業所 など

# I ぼくたちのこと知っていますか

これは，実際に障がいのある子どもが伝えてくれた言葉に基づいて作成したものです。

ぼくは 5 さい

ほいくえんに いってるよ

ほいくえんでは ときどき

ぼくのきらいな おおきいおとがする



たいこのおと

あかちゃんのなきごえ

ともだちも みんなでおしゃべりする

それは とてもいやなおとだよ

だから ぼく みみをふさぐ

「がまんしなさい」

「そのうちなれるわ」っていうひとがいる

だけど ぼくはうるさくて あたまがいたくて

たまらないんだ

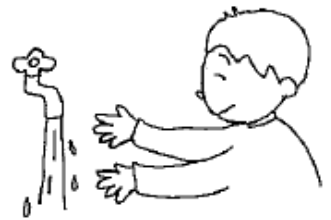
おみずを じゃーじゃーだすのは だいすき

いつも おんなじドアから はいるのもすき

だって おんなじが あんしんする

いつもいつも おなじだと よくわかる

いいきぶんだよ



「おわりです」って きゅうにいわないで

なにがなんだか わからなくなるから

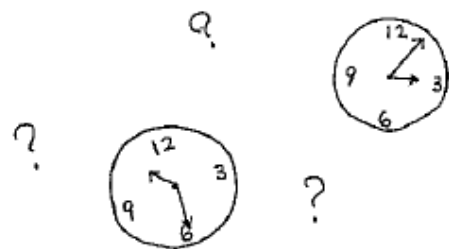
じかんは みえない

みえないものは わからない

わからないと こわくていやだよ

わからないばしょ わからないもの

わからないことばが ぼくをくるしめる



おそとにいきたいなって おもったら  
そとにでる  
ともだちやせんせいがへやにいても ぼくは いくよ

きらきらしているひかりがみえる  
みどりのはっぱが しずかにゆれている

みにいかなくちや



おへやでおはなしきくことと  
おそとにいくこと どっちがだいじなの？  
ぼくも おそとにいくわけがあるんだ

ともだちは きらいじゃないよ  
だけど みんなちがう  
「いいよ」っていたり  
「だめよ」っていたり



いつならいいの？ なにがだめなの？  
ぼくは なにをしたらいいの？

ともだちのはなしも わからないから はなれる  
おもしろくないから はなれる



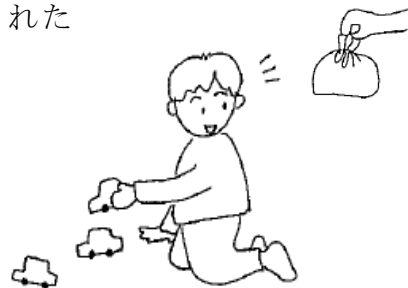
ともだちと あそびたくなったら  
ちかくにいくよ  
だきついたけど いやだっておこった  
ほらね ぼくなんか きらいなんですよ  
ぼくなんか いなくてもいいんだ

ぼくは あそびたかっただけなのに

せんせいが 「きゅうしょくたべよう」 って  
いってたけど  
ぼくは ずっとあそんでいたよ  
せんせいは まいにちぼくのそばで まっていてくれた  
でもぼくは あそんでいたよ

あるひ せんせいが ぼくのべんとうばこを みせてくれた

「あっ、おべんとうたべるんだ」 って  
わかったから たべにいったよ

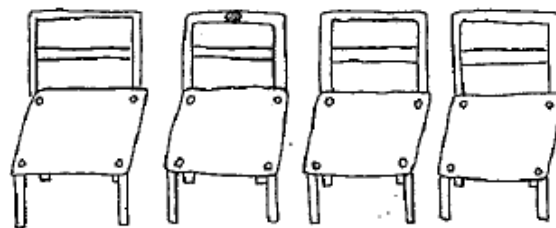


せんせいが ほめてくれた にこにこにしてた  
てをたたいてた ぼくもなんだか うれしくなった

しゃしんのカードも みせてくれたよ  
「きょうは プールをします」 って  
ぼくのだいすきな プールがある  
せんせい ありがとう  
プールしてくれて ありがとう

ぼくが おへやのなかをあるいていたら  
せんせいが ぼくのすわるいすに  
あかいシールをはってくれた  
あかいいろは ぼくのすきないろ  
しょうぼうじどうしゃのいろ

せんせいが「ここにすわってね」と  
いったんだ



ぼくは ここだ  
ぼくの ばしょは ちゃんとあった



ぼくの にがてなこと

たくさんの ながいおはなしをきくこと

おんがくにあわせて からだをうごかすこと

ともだちの きもちにきづくこと

はやく ものをつくること

なわとび どっちぼーる

ちいさいこえや おおきいこえを ちゃんとつかいわけること

シャワー むしむしするあついひ

はじめてのうたを うたうこと

なにもすることがないこと

じぶんでかんがえなさいっていわれること

どうですか?と しつもんされること

じぶんのきもちを ことばでつたえること



ぼくが いいきぶんになるとき

だいすきな おんがくをきいているとき

ふわふわの もうふに くるまっているとき

おなじみちをとおって いつものおみせに行くとき

ちょっと むずかしい めいろができたとき

しずかなところに いったとき

ソースやきそばをたべたとき

ぶらんこを ビュンビュン こいだとき

ぼくのいいたいことを わかってもらったとき



ぼくのことを

りかいしてくれるひとに であったとき



## 「教えてくれて ありがとう」

私 子供が大好きで 保育士になりました

毎日 子どもと泥だらけになって  
走り回って遊ぶのが とても楽しかった  
どの子も大切な私のクラスの子ども達・・・

だけど けいくんと出会った時 私はいつも迷っていました  
何度声をかけても 聞いていないみたい  
どうしてなのか 分からないからやってみたの  
優しく笑顔いっぱい 誘ってみたり  
厳しく怒ってみたり  
言葉も変えてみてやってみたけれど 何も変わらなかった

楽しいこと させてあげたいから 誘ってみたけれど  
大声で泣いていた けいくん 悲しそうにずっと泣いていた  
私は あなたの傍で ただ涙が止まるのを待っていた

でもある日 私の言葉を書いてみました  
絵や文字を使って 書いて伝えてみました  
そしたら けいくんが ちゃんとこたえてくれた

大好きな お外へいこうと  
けいくんの帽子を見せたら  
遊ぶのをやめて 外へ走っていったよね

うれしくてたまらなくて 私も一緒に走っていった

伝え合う方法は ひとつじゃないこと

教えてくれて ありがとう

## Ⅱ 自閉症の特性

## Ⅱ 自閉症の特性（自閉症のある子どもたちが示す強みや弱み）

| 対人関係の特徴                                                                                                                                               | 具体的な行動や姿                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>社会性の発達の遅れ</b>                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>その差が他児と開き、友達と一緒に過ごすことが難しい（遊ばない、上手く進めず調整が必要）場合がある</p>                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 接近や並行遊び、（道具の）共有といった初歩的な発達の段階</li> <li>○ 協力遊び（目的の共有）、役割や順番の後退、ルールを理解につまずきがある</li> <li>○ やりとりしながら遊びを展開していくことがより困難なことが多い</li> </ul>                                                                  |
| <b>他者への意識が低い、独特</b>                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p><u>他者とのかかわりが特徴的</u><br/>それぞれに他者と関係を築く上で配慮が必要</p>                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他者との関わりの3つのタイプ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 孤立している（かかわらない）</li> <li>・ 受け身（自分からかかわれない）</li> <li>・ 奇異に映る（特異的なかかわり）</li> </ul> </li> </ul>                                               |
| <p><u>社会性に関する行動の課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アイコンタクトの困難さ</li> <li>○ 共感性の困難さ</li> <li>○ 周囲への関心が低い</li> <li>○ 一方的な関わり</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 視線が合いにくい</li> <li>○ 視線が合っても微笑まない</li> <li>○ 自分の喜び等を他者に伝えない、また伝えるが反応を気にしない</li> <li>○ 欲しいものがあるとすぐに取りってしまう（相手に確認しない）</li> <li>○ 一方的に話す相手の返事（反応）を気にしていない、聞かない</li> </ul>                             |
| <b>非言語情報の読み取り</b>                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>指さしや視線の先を上手く追えない</p>                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見たり、聞いたりする時に注目する部分がずれたり、何について話しているかが分からない場合がある</li> </ul>                                                                                                                                         |
| <p>表情やしぐさから気持ちを探れない、またうまく気持ちを伝えにくい</p>                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手の様子から気持ち（喜ぶ、嫌がる等）に上手く気づけない</li> <li>○ 本人の状況とその時の表情がずれていて、うまく気持ちが伝わらない <ul style="list-style-type: none"> <li>例：不安な時に笑ってしまう</li> <li>例：表情が乏しい</li> </ul> </li> <li>○ 結果として思いがうまく伝わらない</li> </ul> |
| <b>感情の対処</b>                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>感情的な場面での混乱が大きい</p>                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 失敗した時などに混乱したりや自分を強く責めたりする姿が見られる</li> </ul>                                                                                                                                                        |

## Ⅱ 自閉症の特性（自閉症のある子どもたちが示す強みや弱み）

| コミュニケーションの特徴                                                                                                                                                                                                                                                                 | 具体的な行動や姿                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>発後の遅れ</b>                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>発語の遅れがある場合もある</li> <li>言葉以外の方法でしか伝えない</li> </ul>                                                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉で自分の思いを上手く伝えられず、行動や泣くことで伝えようとする</li> <li>または伝わらず、怒ったり、諦める</li> </ul>                                                                                                                                                                           |
| <b>エコラリア</b>                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <u>意味理解を伴わない発語</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>即時性のエコラリア <ul style="list-style-type: none"> <li>保育者の声かけや質問をそのまま復唱している</li> </ul> </li> <li>遅延性のエコラリア <ul style="list-style-type: none"> <li>過去に聞いたフレーズの復唱</li> <li>以前の状況で言われた言葉を似たような状況で話す</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>即時性のエコラリアの例 <ul style="list-style-type: none"> <li>「ブランコする？」と聞くと、「ブランコする」と答える</li> </ul> </li> <li>遅延性のエコラリアの例 <ul style="list-style-type: none"> <li>CMやDVDで見たフレーズを別の場面で繰り返す</li> <li>友達をたたいた後に、「ごめん」を言う（過去の経験を全てなぞっている）</li> </ul> </li> </ul> |
| <b>的確には表現できない</b>                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>意図はあるが上手く伝えられない</li> <li>不十分な表現で伝えている <ul style="list-style-type: none"> <li>立場（自他や人称）の違いで言葉を使い分けしていない</li> <li>自分しかわからない特殊な表現や読字言語で思いを伝えようとする</li> </ul> </li> <li>要求の仕方が不十分で、説明しているような言葉になっている</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>保育者をじっと見ることでしか伝えられない</li> <li>出発時に「行ってらっしゃい」と言う（言葉を置き換えにくい）</li> <li>困った（援助が必要な）時に、「ひも結ぶ」と言った状況に合わない言葉を伝えてくる</li> <li>足りない時に「ない、ない」と言うが、「貸して」が言いにくい</li> </ul>                                                                                   |
| <b>言語理解の困難さ</b>                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉だけで伝えられることの理解が難しい</li> <li>曖昧な表現・内容の理解が難しい</li> </ul>                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉だけで伝えると理解し難いが、実物を渡したり、やって見せると指示の理解ができる</li> <li>「仲よく」「やさしく」等の表現で伝えられる意味がよく分からない</li> <li>「そこ」「あれ」がよく分からない</li> </ul>                                                                                                                           |
| <b>会話の困難さ</b>                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に合わせたやり取りが難しい</li> <li>状況に応じたやり取りが難しい</li> </ul>                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の言いたいことを一方的に話す</li> <li>人の会話に突然割り込む</li> <li>嫌がっている様子に気にせずに話す</li> <li>その場の状況や場面に関係のない話をする</li> </ul>                                                                                                                                          |

## Ⅱ 自閉症の特性（自閉症のある子どもたちが示す強みや弱み）

| 常同的な行動や興味に偏りがある                                                                                                                               | 具体的な行動や姿                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>特定の対象への強いこだわり</b>                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 特定の対象（色や形、場所や位置）への強いこだわり（それが通らないことへの混乱など）                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色や形、使用するトイレの位置などにこだわりがある</li> <li>○ 気に入った遊びばかりを繰り返す</li> <li>○ 部屋の物品の位置まで確認し、時に元あった位置に戻そうとする</li> </ul>                                                                                                  |
| 決まった手順や行動パターン、意味のないように見える儀式的な行動                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 散歩コースや保育園に行くルートが決まっている（変わると混乱する）</li> <li>○ いつも同じ行動パターンで入室する</li> <li>○ 意味がないように見える儀式的（パターンのな）行動がある</li> </ul>                                                                                           |
| 変化に対する混乱<br>（上記や日常生活においてやり方が変わることに拒否を示しやすい）                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いつもと違う活動（行事やその練習など）に強い不安を示す</li> <li>○ 急な予定の変更が苦手</li> </ul>                                                                                                                                             |
| <b>興味の偏り</b>                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 興味の範囲が狭くて強い（偏りがある）                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ミニカーのタイヤなど特定の物やその一部に強い興味を示す、じっと見る               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マークやロゴ、数字やキャラクターなど</li> <li>・ 特定の領域に対する知識がとても多い</li> </ul> </li> <li>○ 一方で周囲の子どもや保育者の示したものには興味を示しにくい</li> </ul> |
| <b>常同的・反復的な行動様式</b>                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 周囲から見ると意味がないよう見える行動を反復的に繰り返す                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ロッキング（体を前後に揺らす）</li> <li>○ ピョンピョン跳ぶ、クルクル回る</li> <li>○ 手をひらひらさせる</li> <li>○ 小刻みに体を動かし続ける</li> </ul>                                                                                                       |
| <b>想像性の障害</b>                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不確定要素（A かも、でも B かも）の中から判断したり、その不確定要素自体を導き出すことが苦手</li> <li>○ また臨機応変な状況に対応することが極端に苦手であったりする</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 結果として同じことを繰り返すことがある（その方法以外の方法を探れない）</li> <li>○ 結果として禁止後に別の不適切な行動をする（適切な方法が分からない）</li> <li>○ 結果として変化に対して拒否を示す（判断できないために）</li> </ul>                                                                       |

## Ⅱ 自閉症の特性（自閉症のある子どもたちが示す強みや弱み）

### ○ その他の特徴

以下にあげるものは、全ての自閉症児が示すものではないかもしれません。

しかし多くの自閉症の人に認められるものであり、子どもたちの配慮として検討をしなければならないものもあります。

#### 1 感覚（情報処理）の特異性

##### (1) 感覚に対する強い過敏さ、鈍感さ

- ・感覚（触覚、嗅覚、味覚、視覚、聴覚）に特徴的な様子があり、結果として特定の感覚に関する活動や内容、食事などに対して強い興味や拒否を示す

##### (2) 感覚の特異性

- ・他の子どもとは違う感覚に対して興味を持つ（例：特定の肌触りを好むなど）
- ・また様々な情報を同時に処理できないために多すぎる音や動きや多くの人が同時に動く場面に対して混乱したり、不安を感じる場合がある

#### 2 注意の特性

##### (1) 注意の範囲が限定的

- ・幅広い部分に注意を向けることが苦手であり、ある部分（範囲）に強く注目することがある

例：活動から少し離れた場所にあるヒントや視覚支援に気づかない

例：視覚支援を見せて話す先生の顔に注目して、支援を見ていない

##### (2) 注意がすぐに移る

- ・単に集中力がないためではなく、他の刺激に注意が移りやすい
- ・環境調整が必要な場合もある

##### (3) 集中しすぎて注意が移りにくい（活動の切り替えなどが難しい場合があるなど）

#### 3 一般化の苦手さ

##### (1) できるようになった能力の発揮（活動の実施）に環境の影響を受けやすい

- ・場面や一緒に行う相手が変わるとその実施が難しくなる場合がある
- ・また（似たような）少し違う状況にその経験を置き換えることが難しいので、教えたはずのことを何度も言わないといけない

→この場合は保育者は全く同じ状況なのか、少し違っているのかを確認しておく必要がある

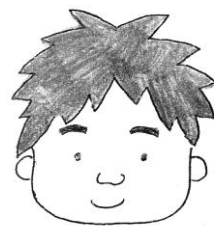




### Ⅲ 社会性の発達における課題

### Ⅲ 社会性の発達における課題

#### (1) 相手の反応に気づくことができない



自閉症等の子どもたちの特徴の1つに、状況把握において、ある特定の部分に強く注目してしまうこと（漫画の中では、ブロックがあること）があります。

一方で、周囲の全体的な状況に気づけないこと（漫画の中では、ブロックを作っている他の子どもたちの様子）があり、結果として周囲とは違う状況判断をすることがあります。

この様子から、自閉症等の子どもたちは、周囲の大人からは、「自分勝手」「自由すぎる」と評価されることが多いかもしれません。しかし実はそうではなく、状況の判断をするために必要な情報を上手く読み取れないことにつまづきがあるのです。保育士が「みんな怒っているよ!」と伝えても、何を言われているかが分からず、その注意や叱責に混乱してしまう場合もあります。

まずは状況を説明（叱責でなく説明が大切!）することから始めましょう。「みんなブロックで作っているよ。（様子を見させた後に、）あなたも作る?」と本人に説明することから始めると良いでしょう。

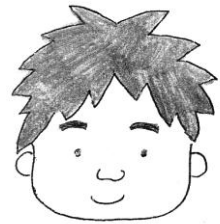
また、自分の行為の結果として相手を意識させていくためには、叱責されるような場面ではなく、より落ち着いた場面で、子どもの行為にすぐに結果を示す（感謝を伝える、褒める、答えるなど）ことを始めてみましょう。

そして自分の行動の影響を本人が少しずつ知ることが大切です。この場合、本人の反省を促すことが目標ではないので、保育者が褒めることから始めると良いでしょう。



### Ⅲ 社会性の発達における課題

#### (2) 一方的に伝える



人とのコミュニケーションは、本来キャッチボール（お互いがやり取りしながら伝えあう）を進める行為です。しかし自閉症等の子どもたちの中には、「伝える（話す）」と「受ける（聞く）」のどちらか一方だけを行ってしまう場合があります。

保育士も、他の子どもから無理やりおもちゃを取り上げる子どもに、『貸して』と言いなさい!』と伝えることだけを子どもに求めることが多いでしょう。多くの子どもたちには、これで良いのですが、自閉症等の子どもたちには、「貸して」と言った後に、「いいよ」や「どうぞ」という相手の返答があることに気付かない場合があります、そのことまでを教える必要があります。

つまり、この状況も保育士と子どもとが、上手くキャッチボールできていない場面であると言えます。

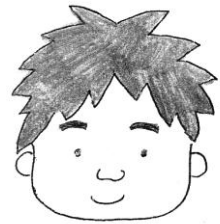
まずは無理なく、安心して渡してもらえる大人（保育士）とのやり取りの中で、本人に見える形、つまり目の前で「いいよ」や「どうぞ」を伝えてから渡す様子を見せることから始めてみましょう。そしてコミュニケーションのキャッチボールを、嬉しい経験の中で学べると良いでしょう。





### Ⅲ 社会性の発達における課題

#### (3) 1番がいい



自閉症等の子どもたちの思考は、時にとっても固く相手の意見を受け入れにくい場合があります。また、一義的な価値観（例えばゲーム＝勝つことが目的、と1対1対応で意味づけをする）を持つ場合があります。自閉症等の子どもたちの成長においては、こうした価値観を無理なく少しずつ広げていくことが大切になります。

しかし、単に「負けたけど、楽しかったから大丈夫!」と伝えたとしても、なぜ保育士が急にそんなことを言い出したのかが分からないため、この話は意味がよく分からない話として判断されてしまいます。

自閉症等の子どもたちには、「なぜ、1位でなくても良いのか」を保育士も先に考えておき、それを伝えておく必要があります。その上で保育や他の子どもたちへの関わりに活かしていくと良いでしょう。

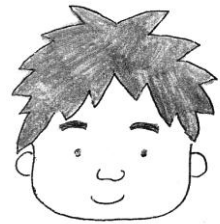
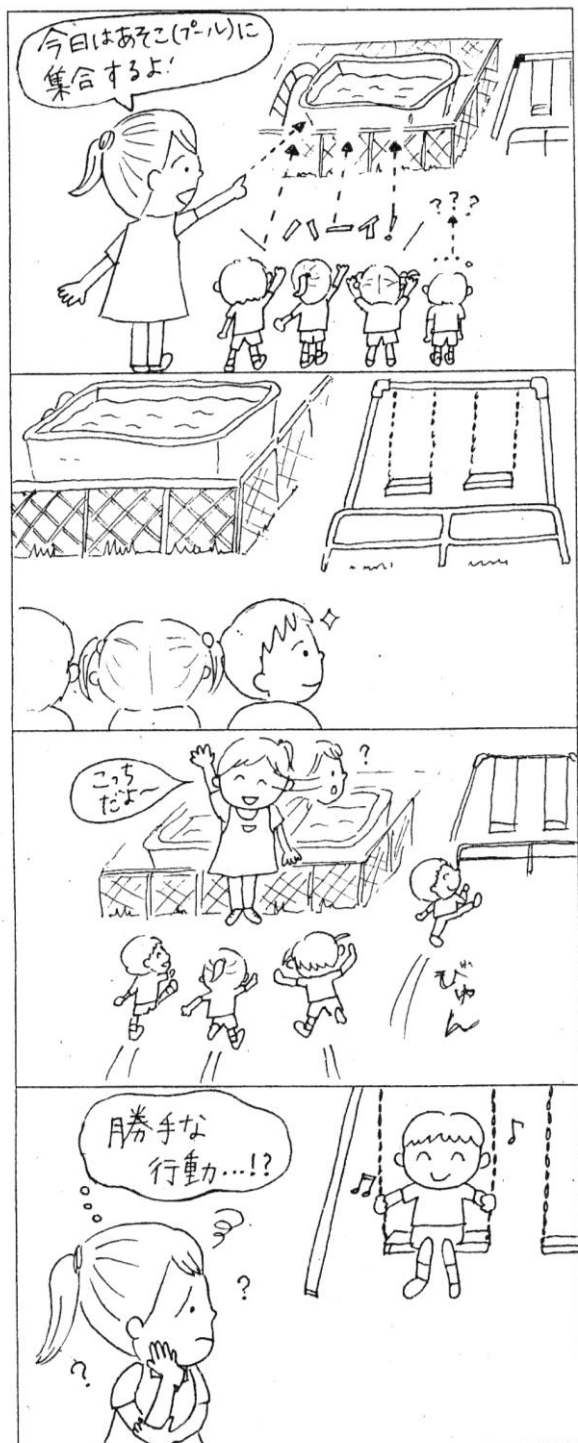
例えば「勝ったり負けたりする」を伝える場合には、何度も繰り返すことができるゲームを行い、勝ったり負けたりを繰り返しながら、そのメッセージを伝えていくと良いでしょう。

もし「負けてもしっかり応援できたから偉い」と褒めるのであれば、日常的によく褒めている人を称賛するクラスづくり（時に1位以外の人に渡せるメダルを作る）を行うことが重要です。



### Ⅲ 社会性の発達における課題

#### (4) 指差しや視線の先が上手く追えない



自閉症等の子どもたちにおける社会性の発達の特性の中には、状況判断が上手くできないというものがあります。

こうしたつまずきには、様々な要因が影響しています。その1つに指差しや視線という明確でない（視覚的にはっきり示されていない）情報を上手く読み取れないという自閉症等の子どもたちの特徴があります。

こうした情報を上手く読み取れない子どもにとっては、先生や友達が話している内容の一部に理解しにくい（何を話されているかわかりにくい）ものになる場合があります。これは、すぐ読み取れるようになるわけではありません。だからこそ、保育園では、それを上手く読み取らせることよりも、まずは、何の話であるかを明確にすることで、話を聞く「姿勢」を身に付けていけるようになることの方を大事にしてほしいと思います。

例えば、保育士が話す物を手にもって話したり、その場に移動してから説明をしたりしながら、自閉症等の子どもたちにも何について話しているのかを分かるように工夫してみましょう。

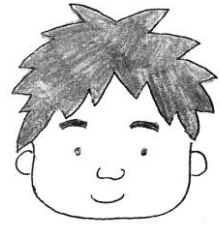




## Ⅳ コミュニケーションにおける課題

## Ⅳ コミュニケーションにおける課題

### (1) 言葉を繰り返す（エコラリア）



自閉症のある子どもたちの中には、意味のない言葉の表出を示す子どもがいます。こうした意味のない表出の中で、過去に聞いた言葉の繰り返しをエコラリアと言います。

エコラリアには「即時性エコラリア」と「遅延性エコラリア」という2種類があります。

即時性エコラリアとは、今聞いた言葉をそのまま繰り返すものです。左の漫画の子どもは、保育士の聞いた言葉をそのまま繰り返しています。しかし実際に何をしたいのかが分かりません。

遅延性エコラリアとは、以前聞いた言葉を少し時間が経過してから繰り返すものです。時に場面とセットで言葉を覚えている子どももいます。

例えば、友達を叩いた後に「ダメ」という言葉を表出している子どもは、友達を叩いた時に保育士に言われた言葉を同じような状況で再現しているのかもしれませんが、エコラリアは、発語はあるけれども、その言葉を本人の思いを伝えるためには上手く使えていないという状況を示しています。

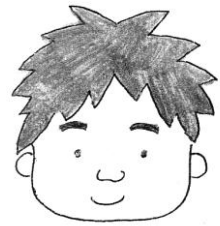
まずは、聞き方を変えることから始めましょう。例えば、「～する?」という質問ではなく、2つの玩具を示し、どちらか一方を選ばせることで、何をしたいのかを伝えられるように支援してみることから始めてみましょう。そしてその中で少しずつ言葉を使って自分の気持ちを伝える経験を増やしていけると良いでしょう。





## Ⅳ コミュニケーションにおける課題

### (2) 上手く言葉で表現できない



コミュニケーションに障がいがある子どもにとって、時に親切で、丁寧な保育士の存在は、園での生活においてとても素敵な存在であるでしょう。上手く伝えられなくても、ちゃんとわかってもらえると子どもは、安心して日々の生活を送ることができます。

しかし、保育士は気を付けなければなりません。子どものことを分かってくれる保育士ほど、子どもが自分の思いを「伝える機会」を奪っている存在でもあるかもしれません。

子どもは伝えなくても分かってもらい過ぎると、伝えようとする姿勢が育ちません。上手く伝えられない場面では、まず保育士が答えた上で、それに対して次の場面では「分からない時は『先生』と呼んでね」ということを事前に伝えたり、呼びやすいよう傍にいて少し待つてみると良いかもしれません。

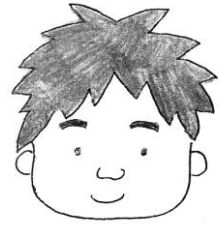
特に療育機関に通っている子どもの場合は、視覚的な方法(カードなど)を経験している場合もあり、そうした支援については、家族や療育機関と連携を持ちながら、方法を共有していくと良いでしょう。

こうしたことにより、「分かってもらえる」環境だからこそ「伝える」ことが育っていくことにつながっていくでしょう。



## Ⅳ コミュニケーションにおける課題

### (3) 状況を上手く振り返られない

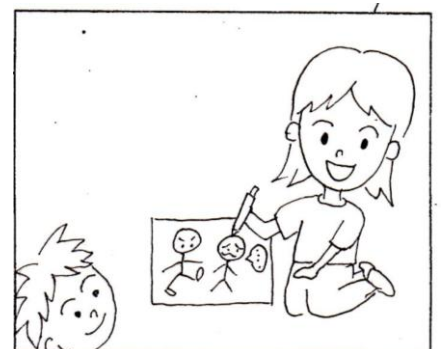


自閉症等の子どもたちが苦手なことの1つに、状況を時系列に沿って整理して伝えたり、保育士の問いかけに合わせて状況の中から必要な要素（喧嘩した理由）を上手く抜き出して伝えることがあります。

特に子どもが思いつくままバラバラに話すため、何が、どのように起こったのかよく分からない場合があります。また、上手く抜き出せない子どもは、いつも1から10まで（つまり関係のないことも含め一連の全て）を話すために、じっくり聞く時間が上手く取れないことが起こってきたり、何を言いたいのかわからないことがあったりします。

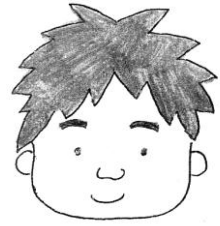
視覚支援を行う場合の理由の1つに、情報を整理するというものがあります。子どもの話を聞きながら、簡単な絵を書く場合がありますが、これにより、子どもが絵を見ながら状況を整理して話すことを支援することができます。

言葉だけで話すと「それでどうなったの?」と先の話を聞いたり、「そうだった理由は?」と行動の原因という過去について聞いたり、とても混乱しやすい関わりになってしまいます。



## Ⅳ コミュニケーションにおける課題

### (4) なかよくするって、どうするの？



自閉症等の子どもたちの中には、言葉でのやり取りが可能な子どもたちも多くいます。

しかし、言葉でのやり取りができることと、コミュニケーションの支援が必要ではないことは同じ意味にはなりません。子どもたちとのやり取りの中で気づくことは、説明において理解できる内容と、理解が難しい内容があるということです。

理解が難しい内容には、いくつかの理由がありますが、その1つに「抽象的な表現」の意味理解の困難さがあります。

例えば、漫画のように「仲よくしよう」といった内容で伝えられた時に、自閉症等の子どもたちは自分が何をすべきかをうまく読み取ることができない場合があります。確かに自閉症等の子どもたちには、視覚支援が有効だと言われますが、この場合には、より具体的な内容、つまり取るべき行動に表現を変えた上で、視覚的な説明をしておかなければ、その絵から「意味」(期待)が読み取れないままであることが多いのです。

まずは、保育士の方で「私は、この場面で何をしたいと思っていたのか」を考えた上で、それを絵に描いておくとうまく伝わるでしょう。



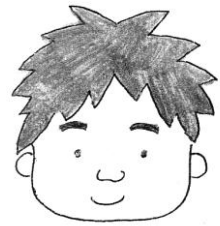


## V 想像力の特徴



## V 想像力の特徴

### (1) ダメはわかるけど・・・



自閉症の行動特徴に同じことを繰り返すことや、うまく行動を変えられないことというものがあります。こうした行動特徴の背景にあるものとして推測されるのが、「想像性の障がい」です。

ここでいう想像性とは、経験したことのないものや状況に応じた適切な振る舞いなどを的確にイメージすることを指します。左の漫画を振り返ると、「(イライラした時に) ～してはいけない」ということを保育士は伝えています。しかし、一方で「だから・・・しよう」という具体的な助言や提案は、表現されていません。ここで子どもたちは、限られた想像性の中でしか行動を考えることができません。結果、物を投げなくなったかもしれませんが、大きな声を出すという別の良くない行動に変わっています。

ですが、ここで叱られると子どもは混乱します。なぜなら、子どもは、保育士の指示を受け入れて行動を変えたのに、また叱られてしまうという矛盾を経験してしまうためです。

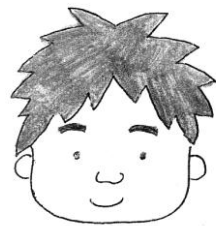
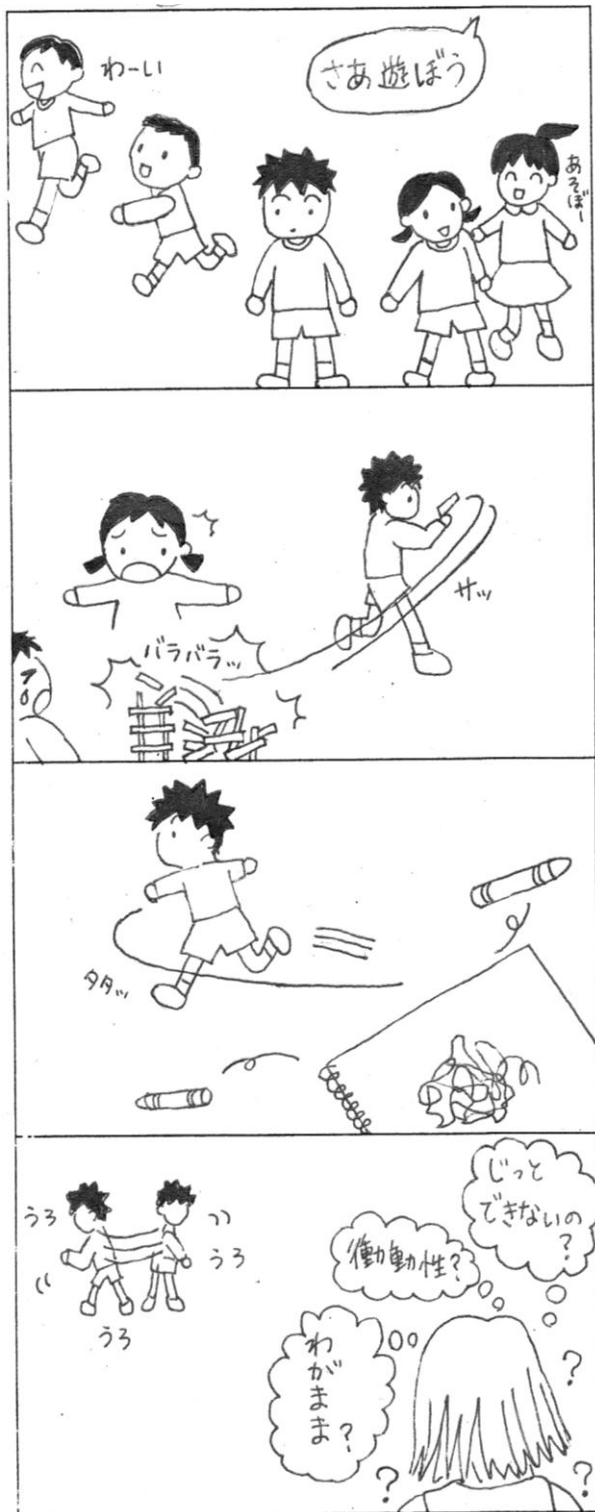
まずは、「ダメ」だけ伝えずに、または「ダメ」よりも先に、「どうすべきか」を伝えたり、子どもと一緒に考え、やってみましょう。

そこが、子どもにとって大事な部分だからです。



## V 想像力の特徴

### (2) 何をすればいいのかわからない



特に自由遊びの場面で上手く過ごせない子どもたちがいます。製作や集団遊びの場面と比べ、自由遊びの場面は、その傾向が強い場合があります。ここに想像性の障がいの影響があるのです。

想像性の障がいがある子どもにとって、自由時間は常に「何をしても良い楽しい時間」になるのではなく、「何をしたら良いかよく分からない時間」と受け止められてしまう場合があります。また、クラスでの生活は、それぞれの子どもたちが思い思いに好きなことをしているため、その遊びが多すぎて選べないことも考えられます。

そこでウロウロしている間に、物を崩したり、おもむろに書き始めたまま直ぐに立ち去ったり、気まぐれに見える行動をしてしまう場合があります。また、別の子どもは、その場に立ち尽くしてじっとしているかもしれません。

まず、注意をしたりするよりも、ある遊びに誘ってみることから始めてみましょう。もし受け入れなければ、3つ程度の遊びを用意して「どれで遊ぶ」と選べるようにすると良いかもしれません。

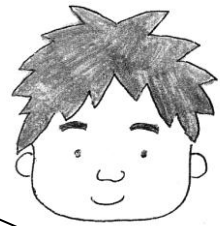
大切なことは、トラブルをなくすことではなく、自由時間を不安なく、楽しく過ごせるようになることです。

まず、何をしたら良いのかという不安を取り去るために、遊びを提案してことから始めてみましょう。



## V 想像力の特徴

### (3) 何をするのかわからない



自閉症等の子どもたちにとって先の見通しがつかない活動は、不安な活動として判断される場合があります。

特に行事やその練習場面は、日常の保育とは別の、経験したことがない場面であるため、よりその不安が増しやすいたいことが多いです。

他の子どもにとって「いろいろできる」ということが楽しいもののはずなのに、自閉症等の子どもたちにとっては「よく分からないことをいくつもやらされる」という怖い場面に感じるのかも知れません。

まずは、見通しが持てるように支援してみましょう。例えば、練習のプログラムを書き出してみることや、一度見学をしてみてどのように練習を行うのかを確認できるようにしてみると良いかもしれません。

また、踊りや歌などは、事前にCDやDVD等にして、予め見ておくことも良いかもしれません。

大事なことは、「どうやって参加させるか」ということだけを考えるのではなく、本人の不安を取り去るためにどのような支援が必要であるのかを考えることにあります。

すぐに参加できるようにならなくても、少しずつ参加の度合いが高まっていけると良いでしょうし、その様子（変化）に気付いていくことが大切です。





## VI 資料

# 障がい児保育アドバイザー派遣事業

## 1 目 的

障がい児保育を必要とする児童数が増加するとともに、多様化かつ複雑化する障がいの内容に適切に対応するため、関係機関や専門家から助言、指導等を受けることにより、保育園における障がい児保育の充実を図ることを目的とします。

## 2 対象となる児童

- (1) 障がい児等保育事業の実施認定を受けている児童
- (2) 障がい児等保育事業の実施認定を受けていない児童であって、園長の申し出と該当児の保護者の同意がある児童

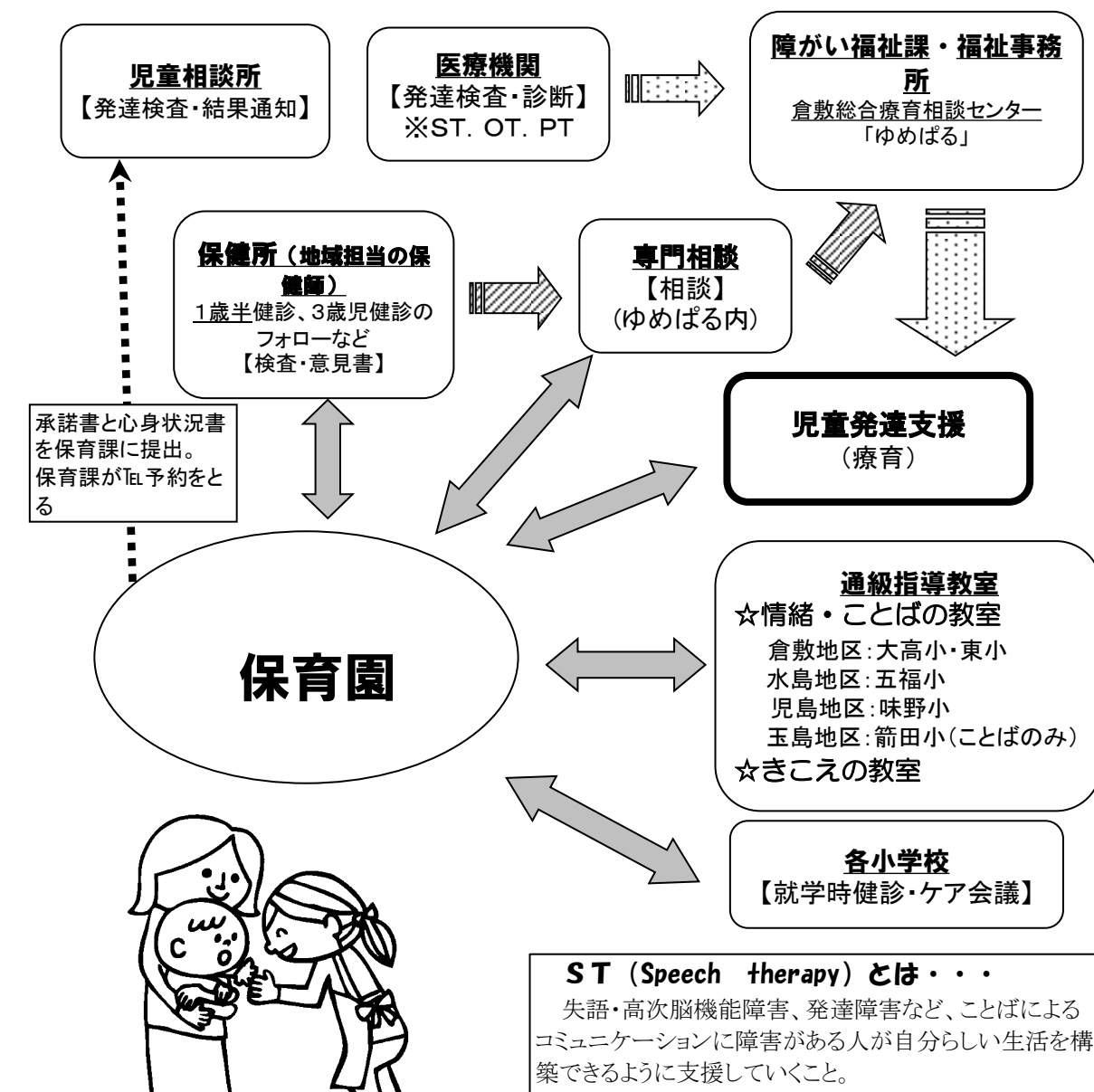
## 3 背 景

近年、高機能自閉症や広汎性発達障害など、知的水準に問題がないにも関わらずコミュニケーション能力に問題を抱える児童が増えており、障がいの多様化・複雑化がみられます。

「障がい児保育アドバイザー派遣事業」は、障がい児等の保育・教育の専門の指導者（発達支援員、作業療法士、言語聴覚士、大学教授等）に保育園に来園していただき、対象児の保育を参観し、対象児の状況に応じた指導方法等のアドバイスを保育士が受け、日常保育に活かしていくものです。



## 障がい児保育関係図



## 相談機関・窓口

- ◎倉敷総合療育センター「ゆめぱる」  
TEL 434-9882
- ◎こども発達支援センターてとて  
TEL 464-3120
- ◎児童家庭支援センタークムレ  
TEL 446-2210
- ◎子ども未来部・保育課  
TEL 426-3311

## ST (Speech therapy) とは・・・

失語・高次脳機能障害、発達障害など、ことばによるコミュニケーションに障害がある人が自分らしい生活を構築できるように支援していくこと。

## PT (Physical therapy) とは・・・

主に身体障害、老人期障害がある人に対して、その基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動、電気刺激、マッサージ、温熱、その他の物理的手段を行うこと。

## OT (Occupational therapy) とは・・・

身体障害、発達障害、精神障害、老人期障害等、生活に障害をもつすべての人に対して、日常活動の諸動作、仕事・遊びなど、人間の生活全般にかかわる諸活動を手段として用いて諸機能の回復・維持および開発を促し、主体的な活動の獲得を図ること。

※参考文献:

自閉症スペクトラム辞典(2012年3月30日初版)

# 倉敷市総合療育相談センター

## ゆめぱる

総合療育相談センターって  
どんなところ？



- お子さんの発達に関する悩みなど、相談員がお一人お一人のお話をしっかりお聞きし、解決のお手伝いをします。
- 児童発達支援（療育）や日中一時支援など、必要な福祉サービスの利用をお手伝いします。
- 臨床心理士などによる専門相談日を設けています（予約制）。

‘お友達と上手に関われない’  
‘落ち着きがない’ うちの子って  
なんだか育てにくいな。

### ★★ 相談日時（開所日） ★★

|      |                       | 実施曜日                                   | 時間                      |
|------|-----------------------|----------------------------------------|-------------------------|
| 一般相談 |                       | 火曜日～土曜日                                | 9：00～17：00              |
| 予約制  | 専門相談（臨床心理士）           | 火曜日                                    | 9：00～17：00<br>※1時間程度の面談 |
|      | 専門相談（発達障がい者支援コーディネータ） | ※原則は火曜日ですが、調整できないときは別の曜日をお願いする場合があります。 |                         |

まずは、お問い合わせください

～ ファックス、メールでもどうぞ ～

★★ 連絡先 ★★

電話：086-434-9882

FAX：086-434-9883

E-Mail：ksrsc@city.kurashiki.okayama.jp

ホームページ | 総合療育相談センターゆめぱる

検索

福祉の制度やサービスについて知りたい。



倉敷市総合療育相談センター

〒710-0834

倉敷市笹沖180番地

くらしき健康福祉プラザ1階

# 医療機関

## 1 倉敷市内

|    | 名 称           | 〒        | 所 在 地     | 電 話      | F A X    |
|----|---------------|----------|-----------|----------|----------|
| 倉敷 | こころクリニック      | 710-0002 | 生坂2257-1  | 463-5506 | 463-5561 |
|    | 倉敷中央病院 小児科    | 710-8602 | 美和1-1-1   | 422-0210 | 421-3424 |
|    | 倉敷児童相談所       | 710-0052 | 美和1-14-31 | 421-0991 | 421-0990 |
|    | 倉敷成人病センター 小児科 | 710-8522 | 白楽町250    | 422-2111 | 422-4150 |
|    | 川崎医科大学附属病院    | 701-0114 | 松島577     | 462-1111 | 462-7897 |
| 水島 | 水島中央病院 小児科    | 712-8064 | 水島青葉町4-5  | 444-3311 | 446-0993 |
|    | 水島協同病院 小児科    | 712-8567 | 水島南春日町1-1 | 444-3211 | 448-9161 |
| 児島 | 児島市民病院 小児科    | 711-0921 | 児島駅前2-39  | 472-8111 | 472-8116 |

## 2 市外

|     | 名 称             | 〒        | 所 在 地           | 電 話               | F A X             |
|-----|-----------------|----------|-----------------|-------------------|-------------------|
| 早島  | 南岡山医療センター 小児科   | 701-0304 | 都窪郡早島町早島4066    | (086)<br>482-1121 | (086)<br>482-3882 |
| 岡山市 | まな星クリニック        | 700-0013 | 岡山市北区伊福町3-28-14 | (086)<br>214-0550 | (086)<br>214-0558 |
|     | 大野はぐくみクリニック     | 700-0026 | 岡山市北区奉還町1-2-11  | (086)<br>254-7777 | (086)<br>255-2138 |
|     | 岡山県精神科医療センター    | 700-0915 | 岡山市北区鹿田本町3-16   | (086)<br>225-3821 | (086)<br>234-2639 |
|     | なのはなクリニック       | 700-0951 | 岡山市北区田中182-103  | (086)<br>244-8007 | (086)<br>244-1166 |
|     | 岡山大学病院 小児神経科    | 700-8558 | 岡山市北区鹿田町2-5-1   | (086)<br>223-7151 | (086)<br>235-7636 |
|     | 重井医学研究所附属病院 小児科 | 701-0202 | 岡山市南区山田2117     | (086)<br>282-5311 | (086)<br>282-5345 |
|     | おかやま発達障害者支援センター | 703-8555 | 岡山市中区祇園866      | (086)<br>275-9277 | 同左                |

# 児童発達支援事業所（対象：幼児）

| 名 称 |                     | 〒        | 所 在 地          | 電 話           | F A X    |
|-----|---------------------|----------|----------------|---------------|----------|
| 倉敷  | きらり中庄★※             | 701-0113 | 栗坂8            | 464-0004      | 464-0014 |
|     | ここキッズ※              | 710-0002 | 生坂2257-1       | 463-5506      | 463-5561 |
|     | ぽこ・あ・ぽこ             | 710-0005 | 西岡1093-2       | 486-0069      | 486-0069 |
|     | れつつ                 | 710-0016 | 中庄2960-1       | 463-5311      | 463-5311 |
|     | こまちさくら              | 710-0026 | 加須山223-1       | 441-4111      | 同左       |
|     | まんようの里・キッズ※         | 710-0036 | 粒浦23-2         | 435-2240      | 425-9003 |
|     | ぽこ・あ・ぽこ藤戸           | 710-0133 | 藤戸町藤戸3-6       | 441-5590      | 441-5591 |
|     | めやすぽこ・きっず           | 710-0803 | 中島638-13       | 466-0751      | 460-3403 |
|     | めやすぽこ・きっずⅡ          | 710-0847 | 東富井739-2       | 697-6841      | 697-6842 |
|     | Smile Kid's かたしま※   | 710-0805 | 片島町3-5         | 465-4730      | 465-4736 |
|     | 未来図※                | 710-0807 | 西阿知378-8 2F    | 466-1192      | 466-1193 |
|     | くう〜らプラス             | 710-0825 | 安江192-1        | 441-7147      | 同左       |
|     | きらり倉敷★※             | 710-0836 | 沖194-1         | 435-9820      | 435-9822 |
|     | 学習支援<br>「ほっとルーム倉敷」※ | 710-0847 | 東富井897-10      | 427-7521      | 427-7520 |
| 水島  | デイサービスセンター<br>さち※   | 712-8013 | 亀島1-24-17      | 444-1162      | 444-1175 |
|     | きらり水島               | 712-8062 | 水島北幸町2-4       | 446-2311      | 445-0880 |
|     | おひさまキッズ             | 712-8061 | 神田4丁目8-28      | 441-9847      | 441-9848 |
| 児島  | 児島自立支援センター<br>ひまわり  | 710-0142 | 林1138          | 485-5775      | 485-2227 |
|     | エンゼルくらぶ※            | 711-0906 | 児島下の町3-8-60    | 473-9300      | 同左       |
|     | きらり児島★※             | 711-0913 | 児島味野1-1-22     | 473-0667      | 476-5103 |
| 玉島  | グランひまわり             | 713-8101 | 玉島上成342-1      | 526-2123      | 441-2123 |
|     | きらり玉島★※             | 713-8103 | 玉島乙島5796-53    | 476-5515      | 476-5516 |
|     | ふわっとひまわり            | 713-8123 | 玉島柏島1531-2     | 441-8011      | 441-8012 |
| 船穂  | ぽこ・あ・ぽこ船穂           | 710-0262 | 船穂町水江185       | 552-5561      | 552-5562 |
| 真備  | withひろば★            | 710-1302 | 真備町服部1895      | 441-7801      | 441-7803 |
|     | のぞみ                 | 710-1312 | 真備町辻田159-3     | 697-0245      | 697-0257 |
| 早島  | w i t hひろば早島        | 701-0304 | 都窪郡早島町早島3365-2 | 080-4930-8117 |          |

★：一部親子通園 ※：一部学齢児の受入

# 放課後等デイサービス事業所（対象：就学児）

| 名 称 |                     | 〒        | 所 在 地              | 電 話          | F A X        |
|-----|---------------------|----------|--------------------|--------------|--------------|
| 倉敷  | きらり中庄※              | 701-0113 | 栗坂8                | 464-0004     | 464-0014     |
|     | 学習支援レインボー大島教室       | 710-0047 | 大島495              | 441-7741     | 441-7740     |
|     | まんようの里・きっず※         | 710-0036 | 粒浦 2 3 － 2         | 435-2240     | 425-9003     |
|     | Smile Kid's かたしま※   | 710-0805 | 片島町3-5             | 465-4730     | 465-4736     |
|     | 未来図※                | 710-0807 | 西阿知378-8           | 466-1192     | 466-1193     |
|     | 児童デイサービス<br>さいころ    | 710-0824 | 白楽町132-1 建部ビル2F    | 425-2123     | 425-2123     |
|     | きらり倉敷※              | 710-0836 | 沖194-1             | 435-9820     | 435-9822     |
|     | 学習支援<br>「ほっとルーム倉敷」※ | 710-0847 | 東富井987-10          | 427-7521     | 427-7520     |
| 水島  | デイサービスセンター<br>さち※   | 712-8013 | 亀島1-24-17          | 444-1162     | 444-1175     |
|     | ひまわり教室              | 712-8041 | 福田町福田2122          | 455-3503     | 455-4113     |
|     | きらり水島※              | 712-8062 | 水島北幸町2-4           | 446-2311     | 445-0880     |
| 児島  | エンゼルくらぶ※            | 711-0906 | 児島下の町3-8-60        | 473-9300     | 同左           |
|     | きらり児島※              | 711-0913 | 児島味野1-1-22         | 473-0667     | 476-5103     |
| 玉島  | きらり玉島※              | 713-8103 | 玉島乙島5796-53        | 476-5515     | 476-5516     |
| 早島  | おひさま早島事業所           | 701-0304 | 都窪郡早島町早島 2 2 9 － 5 | 086-483-0089 | 086-483-0189 |

※:一部学齢児の受入

## 児童発達支援センター（福祉型）

| 名 称               | 〒        | 所 在 地        | 電 話      | F A X    |
|-------------------|----------|--------------|----------|----------|
| 児童発達支援センター 倉敷学園   | 701-0113 | 栗坂8          | 464-0012 | 464-0014 |
| 児童発達支援センター めやすばこ  | 710-0807 | 西阿知988-3     | 441-3416 |          |
| 児童発達支援センター クムレ★   | 712-8062 | 水島北幸町2-4     | 441-7373 | 441-7374 |
| 児童発達支援センター ココひまわり | 711-0913 | 児島味野1-15-1   | 441-5515 | 441-5516 |
| 児童発達支援センター        |          | 玉島八島 1 4 3 6 | 522-0033 | 522-9000 |

★:一部親子通園

## 児童発達支援センター（医療型）

| 名 称      | 〒        | 所 在 地 | 電 話      | F A X    |
|----------|----------|-------|----------|----------|
| 倉敷市くすのき園 | 710-0031 | 有城710 | 429-1391 | 428-4737 |

# おわりに

「あなたにとって、自閉症の子どもと関わって得たものは何か？」

自閉症の子どもたちへの支援に携わって15年ほどたちますが、時々このような質問を受けることがあります。この質問に対して、常にお答えするのは、「価値観を広げられたこと」というものです。

保育園という環境で子どもたちが過ごす様子を見たり、支援を検討したりする時に、多くの人が、「特別」と「平等」という2つの概念の関係について葛藤するといひます。つまり何が「特別」なことで、どうすることが「平等」なのか？と。ある人は言ひます。「私たちは『特別』なことはしません。他の子どもにわざわざそこまでのことをしないのに、障がいがあるからと言って『特別』なことをすると、『平等』ではないでしょう。」しかしこの言葉は本当に正しいものなのでしょうか？もし、ここでいう『特別』な支援・配慮がない状況で自閉症の子どもたちが園生活を送る中で、どの子どもたちも楽しめるような生活や活動が大きな苦痛になったり、大好きなはずの先生と過ごすことに困難さを示したりすることはないのでしょうか？それは本当に『平等』なのでしょうか？

自閉症をはじめとする子どもたちやその家族と向き合う中で、私たちにとって当たり前としてきた価値観が必ずしも全ての人にとってそうならないことを経験します。それは結果として、私たちの価値観を広げるきっかけになることでしょう。障がいのある子どもと向き合う前の自分と、その後の自分とを比べた時に、そこで私は自分の成長を思い浮かべることができます。それは障がいのある子どもたちによって与えられた成長であるのです。各園での取り組みの中での悩みは、園長をはじめとする同僚、関係機関、巡回アドバイザーとぜひ一緒に考えてみてください。その中で悩んだり喜んだりしながら、子どもと一緒に成長することこそ、障がいのある子どもたちが与えてくれる大きな宝物となるでしょう。

一見『特別』に見える支援を考えることで、みなさんと子どもたちの生活に少しでも『当たり前』であるはずの、楽しい活動、安心できる時間、豊かな関わりが増えることを心より願っています。

障がいのある子どもについて知りたい、と冊子を開いてくれてありがとう。

子どもたちのことで悩んだり、考えたり、取り組んでくれたりしてくれてありがとう。

そして、最後まで読んでくれてありがとう。



自閉症の子どもたちの特性理解  
～すべての子どもたちが大切に育てられるために～

---

平成 2 5 年 1 1 月 1 日 第 1 版

編 集：倉敷市保健福祉局子ども未来部保育課

Copyright ©2013 Kurashiki All rights reserved

本書は、「すべての子どもたちが大切に育てられるために」作成しました。この目的に資する範囲であれば自由にお使いください。ただし、商業的な目的での配布や使用は禁止します。

〒 7 1 0 - 8 5 6 5

倉敷市西中新田 6 4 0 番地

倉敷市保健福祉局子ども未来部保育課

電 話 0 8 6 - 4 2 6 - 3 3 1 1

F A X 0 8 6 - 4 2 7 - 7 3 3 5

<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/2013hoiku/>

e-mail [wlfnur@city.kurashiki.okayama.jp](mailto:wlfnur@city.kurashiki.okayama.jp)